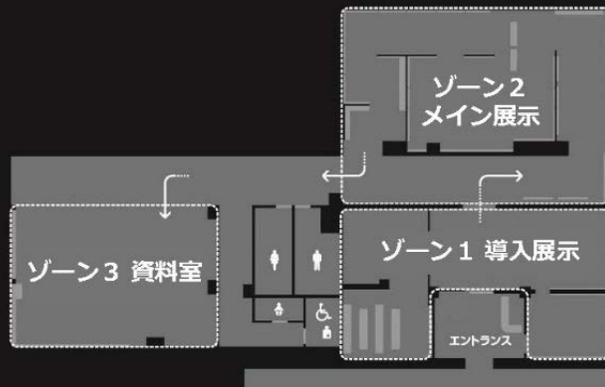


産業遺産情報センター 平面図



産業遺産情報センター1Fの情報提供スペースは、「導入展示（明治日本の産業革命遺産への誘い）」、「メイン展示（産業国家への軌跡）」、「資料室」の大きく3つのゾーンで構成。

ゾーン1 導入展示 明治日本の産業革命遺産への誘い

導入的位置づけの展示ゾーンとして、「明治日本の産業革命遺産」の概要、世界遺産として登録されるまでの経緯をパネルで展示。体感型マルチディスプレイにより、明治日本の産業革命遺産の各構成資産や日本各地の産業遺産について写真や動画を活用しながら解説。ガイダンスシアターでは、世界遺産に登録されるまでの道のりや「明治日本の産業革命遺産」の世界遺産価値を解説する映像を放映。

ゾーン2 メイン展示 産業国家への軌跡

①揺籃の時代、②造船、③製鉄・製鋼、④石炭産業、⑤産業国家への5つのコーナーで構成。幕末から明治にかけて僅か半世紀で産業国家へと成長してゆくプロセスを分かりやすく解説。パネルによる解説のほか、海外の産業遺産に関する専門家のインタビューや構成資産の歴史的価値を映像により紹介。ゾーン中央の情報検索テーブルでは、構成資産のビジュアルイメージをプロジェクトで投影するとともに、資産に関するより詳細な情報についてタブレット端末を使用して検索が可能。

ゾーン3 資料室

閲覧スペースやレファレンスカウンターのほか、書架や各種デジタル機器（モニター、検索装置、体感型マルチディスプレイ等）を設置し、産業労働を含む多様な情報にアクセスが可能。